

ガイダンス

1. 講義の予定

- 4月14日(水) 第1回目 ガイダンス
- 4月21日(水) 第2回目 都市の半戸外空間の環境(その1) 内部の温熱環境
- 4月28日(水) 第3回目 都市の半戸外空間の環境(その2) 成立発展過程
- 5月05日(水) 祝日のため講義なし
- 5月12日(水) 第4回目 都市の半戸外空間の環境(その3) 海外の事例と気候緩和率
- 5月19日(水) 第5回目 都市の半戸外空間の環境(その4) 最近の研究事例1
- 5月26日(水) 第6回目 都市の半戸外空間の環境(その5) 最近の研究事例2
- 6月02日(水) 第7回目 戦前期の南方地域における建築活動と室内環境調整手法
- 6月09日(水) 第8回目 自然エネルギー利用のためのパッシブ建築(その1)
- 6月16日(水) 第9回目 自然エネルギー利用のためのパッシブ建築(その2)
- 6月23日(水) 第10回目 自然エネルギー利用のためのパッシブ建築(その3)
- 6月30日(水) 第11回目 自然エネルギー利用のためのパッシブ建築(その4)
- 7月07日(水) 第12回目 自然エネルギー利用のためのパッシブ建築(その5)
- 7月14日(水) 第13回目 自然エネルギー利用のためのパッシブ建築(その6)
- 7月28日(水) 第14回目 予備日

注1) 上記のスケジュールは、あくまで予定である。検討を加えた結果、予定が大幅に変更になることもある。

注2) スケジュールの変更やその他の連絡事項は、主として講義中に口頭で伝達するので、欠席した場合は、各自で友人などに確認すること。できるだけ掲示もするようにするが、講義中の伝達内容の方が優先順位は高い。なお、今後の E-mail のやり取りを円滑に行うために、本講義の受講希望者は、辻原宛に、所属研究室名、学籍番号、氏名、E-mail アドレス、を E-mail で送付すること。

2. 教科書・参考図書(順に、書名、編著者名、発行所、発行年月、税込価格、ISBN 番号、熊本県立大学附属図書館所蔵情報〔〕内)。以下同様。)

教科書:

- [1] 『自然エネルギー利用のためのパッシブ建築設計手法事典 新訂版』(彰国社編, 彰国

社,2000年7月,2,940円,ISBN:4-395-11095-9)〔開架2,528.2||Sh 96,0000251719,0000253535〕

参考書：

- [2] 『民家の自然エネルギー技術』（木村健一編，彰国社，1999年3月，4,600円，ISBN：4-395-00521-7）〔開架2,528||Ki 39,0000221515,0000221516,0000250748,0000250749〕
- [3] 『環境工学教科書 第二版』（環境工学教科書研究会編著，彰国社，2000年8月，3,675円，ISBN：4-395-00516-0）〔開架2,525.1||Ka 56,0000275620〕
- [4] 『建築設備学教科書 新訂版』（建築設備学教科書研究会編著，彰国社，2002年4月，3,780円，ISBN：4-395-00614-0）〔開架2,528||Ke 41,0000275623〕

また，その他の参考文献は，毎回配布する予定の資料の最後に載せる予定である。附属図書館の所蔵情報も載せる予定なので，できるだけ多くの文献に目を通すようにしてほしい。

3．成績の評価

- ・出席点とレポートを総合して，評価する。定期試験は行わない。

4．配付資料

- ・講義で配布する資料などは，できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので，必要な人や欠席した人は，各自でダウンロードすること。

[http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/
passive.html/passivecontrol.html](http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/passive.html/passivecontrol.html)

5．担当者

担当者の連絡先などは，以下の通り。

助教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

電話：096-383-2929（内線 492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南側中央付近

電話：096-383-2929（内線482）

e-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

6. 研究や論文執筆のためのヒント

・研究生活全般

- [1] 『学生・院生のための研究ハンドブック』（田代菊雄，大学教育出版，2001年5月，1,575円，ISBN：4-88730-437-4）〔開架2，002.7||Ta 93，0000271825〕
- [2] 『ブルーボックス B-1186 理系のための研究生活ガイド テーマの選び方から留学の手続きまで』（坪田一男，講談社，1997年9月，798円，ISBN：4-06-257186-2）〔3F和，408||Bu 1||B-1186，0000277689〕
- [3] 『東郷式 文科系必修研究生活術』（東郷雄二，夏目書房，1997年9月，1,995円，ISBN：4-931391-68-0）〔開架2，002.7||To 23，0000233470〕
- [4] 『岩波科学ライブラリー96 研究者人生双六講義』（入來篤史，岩波書店，2004年2月，1,155円，ISBN：4-00-006596-3）〔所蔵なし〕
- [5] 『ブルーボックス B-1307 理系の女の生き方ガイド 女性研究者に学ぶ自己実現法』（宇野賀津子・板東昌子，講談社，2000年10月，903円，ISBN：4-06-257307-5）〔所蔵なし〕
- [6] 『ブルーボックス B-1436 エンジニアのための開発生活ガイド 開発の秘訣からMBA取得まで』（加藤ただし，講談社，2004年3月，840円，ISBN：4-06-257436-5）〔所蔵なし〕
- [7] 『AERA Mook No.98 勉強のやり方がわかる』（宇留間和基，朝日新聞社，2004年4月，1,365円，ISBN：4-02-274148-1）〔所蔵なし〕

・研究方法

- [8] 『社会科学系大学院生のための研究の進め方 修士・博士論文を書く前に』（ダン・レメニイほか著，小樽商科大学ビジネス創造センター訳，同文館出版，2002年10月，1,995円，ISBN：4-495-86521-8）〔開架2，360.7||R 26，0000265697〕

・フィールドワーク

- [9] 『実測術 サーベイで都市を読む・建築を学ぶ』（陣内秀信・中山繁信編著，学芸出版社，2001年6月，2,520円，ISBN：4-7615-2265-8）〔開架2，518.8||J 52，0000250310〕

- [10] 『都市/建築フィールドワーク・メソッド』（田島則行・久野紀光・納村信之編，INAX出版，2002年7月，1,890円，ISBN：4-87275-110-8）〔開架2，518.8||Ta 99，0000275608〕
- [11] 『フィールドワークを歩く 文科系研究者の知識と経験』（須藤健一編，嵯峨野書院，1996年6月，3,675円，ISBN：4-7823-0233-9）〔開架2，002||Su 14 v 0000276472〕
- [12] 『フィールドワークの新技法』（中村尚司・広岡博之編，日本評論社，1996年6月，2,100円，ISBN：4-535-58272-6）〔所蔵なし〕

・論文の書き方

- [13] 『これから論文を書く若者のために』（酒井聡樹，共立出版，2002年5月，2,625円，ISBN：4-320-00564-3）〔3 F和，816.5||Sa 29，0000260942〕
- [14] 『評価される博士・修士・卒業論文の書き方』（新堀聰，同文館出版，2002年6月，1,470円，ISBN：4-495-86511-0）〔開架2，002.7||N 71，0000261664，0000264505，0000265289〕
- [15] 『どう書くか 理科系のための論文作法』（杉原厚吉，共立出版，2001年1月，2,310円，ISBN：4-320-00563-5）〔開架2，407||Su 34，0000262974〕
- [16] 『論文作法 調査・研究・執筆の技術と手順』（ウンベルト・エコ著，谷口勇訳，而立書房，1991年2月，1,995円，ISBN：4-88059-145-9）〔3 F和，801.6||E 19，0000237337〕
- [17] 『中公新書 624 理科系の作文技術』（木下是雄，中央公論新社，1981年9月，735円，ISBN：4-12-100624-0）〔文庫本，080||26||624，0000005701，0000005702，0000005703〕
- [18] 『講談社学術文庫 論文の書き方』（澤田昭夫，講談社，1977年6月，861円，ISBN：4-06-158153-8）〔文庫本，080||KO 2||153，0000157528〕
- [19] 『PHP新書 074 入門 論文の書き方』（鷺田小彌太，PHP研究所，1999年4月，693円，ISBN：4-569-60560-5）〔文庫本，080||P 56||074，0000275303〕
- [20] 『平凡社新書 103 ぎりぎり合格への論文マニュアル』（山内志朗，平凡社，2001年9月，735円，ISBN：4-569-60560-5）〔文庫本，080||H 51||103，0000275301〕
- [21] 『岩波新書 F 92 論文の書き方』（清水幾太郎，岩波書店，1959年3月，693円，ISBN：4-00-415092-2）〔書庫，080||3A||341，0000004327〕
- [22] 『丸善ライブラリー246 理科系の論文作法 - 創造的コミュニケーションの技術 - 』（高木隆司，丸善，1997年9月，693円，ISBN：4-621-05246-2）〔文庫本，080||MA 1||246，0000193254〕
- [23] 『創造的論文の書き方』（伊丹敬之，有斐閣，2001年12月，1,680円，ISBN：4-

641-07649-9）〔3F和，816.5|||88，0000262458〕

- [24] 『ちくま学芸文庫 レポートの組み立て方』（木下是雄，筑摩書房，1994年4月，798円，ISBN：4-480-08121-6）〔文庫本，080|||C44|||121，0000277997〕

・レポートや卒業論文の書き方（復習の意味も兼ねて）

- [25] 『レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』（石坂春秋，くろしお出版，2003年3月，1,470円，ISBN：4-87424-273-1）〔3F和，816.5，9000006625〕
- [26] 『レポート・論文の書き方入門 [第3版]』（河野哲也，慶應義塾大学出版会，2002年12月，1,050円，ISBN：4-7664-0969-8）〔所蔵なし〕
- [27] 『卒論応援団』（澁谷恵宜，クラブハウス，2000年7月，¥2,079円，ISBN：4-906496-24-5）〔3F和，816.5|||Sh23，0000275899〕
- [28] 『NHK ブックス 954 論文の教室 レポートから卒論まで』（戸田山和久，日本放送出版協会，2002年11月，1,176円，ISBN：4-14-001954-9）〔文庫本，080|||Nh2|||954，0000276644〕
- [29] 『講談社現代新書 1603 大学生のためのレポート・論文術』（小笠原喜康，講談社，2002年4月，714円，ISBN：4-06-149603-4）〔文庫本，080|||49|||1603，0000259322〕
- [30] 『わかりやすい論文レポートの書き方 - テーマ設定から・情報収集・構成・執筆まで - 』（安藤喜久雄編，有楽出版社，1999年7月，1,575円，ISBN：4-408-59126-2）〔3F和，816.5|||A47，0000275990〕
- [31] 『卒論・ゼミ論の書き方 [第2版]』（早稲田大学出版部編，早稲田大学出版部，2002年5月，1,050円，ISBN：4-657-02516-3）〔3F和，816.5|||W41，0000267194〕

・インターネットの活用

- [32] 『講談社現代新書 1677 インターネット完全活用編大学生のためのレポート・論文術』（小笠原喜康，講談社，2003年8月，756円，ISBN：4-06-149677-8）〔文庫本，080|||49|||1677，0000273985〕
- [33] 『ブルーバックス B-1292 理系のための英語文献の探し方・読み方 インターネット時代の検索・読解ガイド』（小坂貴志，講談社，2000年6月，840円，ISBN：4-06-257292-3）〔開架2，408|||Bu1|||B-1292，0000277973〕
- [34] 『文科系学生のインターネット検索術』（大串夏身，青弓社，2001年11月，1,680円，ISBN：4-7872-0025-9）〔開架2，007.5|||O26，000276521〕